

令和6年10月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和6年10月28日（月） 午後3時00分～午後3時43分

○場 所 三浦市民交流センター 研修室

○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

村 山 智 洋 委員、 川 名 大 介 委員

4 教育長報告

- (1) 神奈川県都市教育長協議会について
- (2) 来年度の予算編成に係る要望について
- (3) インフルエンザ、小中学校の行事について
- (4) 学校訪問について

5 報告事項

- (1) 令和6年9月の後援名義等使用について
- (2) 令和7年度予算編成方針について
- (3) 学校給食費の改定について

6 その他

7 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	廣 瀬 牧 実
委 員	石 渡 博 幸
委 員	村 山 智 洋
委 員	川 名 大 介

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	鈴 木 基 史	教育総務課長	浦 西 伸 一
学校 教育 課長	増 田 格 人	青少年教育課長	南 雲 哲 也
学校 給食 課長	武 田 健 二		

○事務局出席者

教育総務課グループリーダー	阿 井 俊 弥	教育総務課主事	吉 田 か お り
---------------	---------	---------	-----------

○傍 聴（0名）

○及川教育長 それでは、皆さんこんにちは。ただいまより令和6年10月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに本日から出席をしていただいております10月1日付けで新しく教育委員会委員に就任されました川名大介さんを御紹介いたします。川名委員より御挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(川名委員あいさつ)

ありがとうございます。

続きまして、職務代理者から自己紹介をお願いいたします。

(教育委員、事務局職員自己紹介)

それでは、定例会を進めてまいります。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆さまのお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関する皆さまの御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて御承認をいただきたいと思っております。

それでは、修正等につきまして御意見ございましたら、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和6年9月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に村山委員と川名委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○及川教育長 それでは、続きまして次第4「教育長報告」をさせていただきます。

今回の教育長報告につきましては、まず県内の教育長が集まった会議が10月24日(木)に神奈川県都市教育長協議会総会が海老名市で行われました。議題につきましては、この協議会

の規約の改正、改正内容については委員の任期についてでこれまでは単年度ということで就任が古い順に役を決めていたのですが、そのところを2年ごと、そして横浜、川崎、相模原、横須賀を除いた15市で3つのグループを作りまして、その中で会長等の役職については順番に決めていくことになりました。そのような改正に基づいて、新役員については暫定的に3月末まで、そして4月から新たに2年間になります。4月からというのも新たに明記されているところでもあります。昭和40年以来の改正ということでかなり長い間前の規約に基づいて行ってきたわけですが、現状を踏まえながら先ほど申し上げた2年間、そして4月からグループを作って順番に役を受けていくということでの改正が行われました。

そのほかに、行政説明ということで文部科学省のデジタル化プロジェクトサブリーダーから学びのデジタル化について、GIGAスクールということで進めていて、来年度には端末を買い替えるという流れになっていますけれども、学びのデジタル化の今後という内容で行政説明がありました。

そして、その後情報交換が行われ、今回は主に学校給食費の無償化について情報交換がなされました。三浦市の場合は無償化ということではなく、子どもを持つ家庭への経済負担の軽減ということで、半額補助を行っておりますけれども、県内では厚木市、小田原市が進めていてこれは市長の公約に基づいて無償化をしているというところがあります。そこについては選挙など関係しての取組ということで行っているところもあるわけなんですけれども、それぞれの教育長の立場から言うとそこに充てられている予算があればもっと別のことに使えるのではないかとということも話題になりました。保護者等の話を聞くと給食費を無償化するというよりもその予算で子どもの教育環境を充実させることを望む保護者のほうが多いのではないかとというような話もありました。三浦市については今後そのことに関する話は進んでいくことになると思いますが、教育委員の皆さんには県内の教育長の考えをお伝えいたしましたけれども、三浦の今後について一緒に考えていければと思っております。

来年度の三浦市の予算編成については、団体等から要望をいただいているところであります。先日、三浦市管理職組合（学校の校長、教頭の組合）から要望をいただき、今後については、三浦市PTA連絡協議会、三浦半島地区教職員組合からの要望もいただく予定となっております。

そのほか、子どもたちの状況については、すでに新聞などにも報道されておりますが、インフルエンザの流行が例年よりも早くなっております。三浦市も例外ではなくて10月11日（金）に南下浦中学校の3年生が急に増えてということで、その翌週の3連休あけて15日、16日の2日間を学級閉鎖の対応をさせていただきました。

また、行事については、小学校の修学旅行が10月11日、12日に予定どおり実施しております。運動会については、10月26日（土）に市内4校、三崎小学校、南下浦小学校、剣崎小学校、初声小学校の運動会が行われました。剣崎小学校については、最後の運動会ということで最後のプログラムでは全校でのソーランを1年生から6年生全員で運動場いっぱい広がってソーランを披露いたしました。今後については、11月2日（土）に岬陽小学校、名向小学校が運動会を行います。

また、11月につきましては教育委員の皆さんにはお伝えしておりますが、学校訪問を11月18日（月）、19日（火）、20日（水）の3日間となっておりますので、御協力お願いいたします。各学校を回りまして、校長、教頭と2つのテーマで協議を行います。一つは学力向上に

関すること、もう一つは各学校からすでに提出していただいているものになります。あとは施設や児童生徒の様子ということで授業を見たり、給食を一緒に食べていただいたりということで学校の様子を直接肌で感じていただきながら今後に活かしていければと思います。

教育長報告は以上です。何か御質問等ございましたらお願いいたします。
いかがでしょうか。

○石渡委員 三浦でもインフルエンザで学級閉鎖があったということですが、県内の状況はどのようになっているのでしょうか。

○及川教育長 学級閉鎖ということでは、新聞などを見ているかぎりではそれほどでもないのかなと思います。ただ、インフルエンザ、コロナはかなり流行している状況にあるというのは現状あります。

○川名委員 学校訪問で2つのテーマということで、学力向上についてと学校から事前に提出されているとのことでしたが、訪問する前に資料とかはいただけるのでしょうか。

○及川教育長 今後まとめたものをお示しいたします。

学校訪問の協議については、私が進行いたしますので、学校と委員の皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。なければ報告を終わります。

続きまして、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)令和6年9月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○浦西教育総務課長 それでは令和6年9月の後援名義等の使用について御報告いたします。

資料1ページ、資料1を御覧ください。

令和6年9月に資料記載の事業について、教育総務課関係1件、学校教育課関係2件、青少年教育課関係1件の申請につきまして、後援名義等の使用承認をいたしました。

内容等について御質問等ございましたらお願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

続きまして、(2)令和7年度予算編成方針について、事務局より報告をお願いします。

○浦西教育総務課長 それでは令和7年度予算編成方針について報告します。

資料2ページから8ページ、資料2を御覧ください。

令和7年度予算編成方針につきましては、令和6年10月11日に政策部より依命通知がありました。

はじめに、本市の財政状況ですが、様々な財源対策に取り組み、二町谷埋立地の売却やふるさと納税など一定の成果を上げてきましたが、高齢化などによる社会保障関連経費の増加に加え、人口減少に伴う市税収入の低迷などもあり、今後も厳しい財政運営となる見込みであります。

また、子育て賃貸住宅の整備や今後は市庁舎移転など大型事業に着手しておりますので、公債費への影響が懸念され、今後も継続的に、地域経済の活性化、福祉や子育て環境の充実、市民サービスの利便性の向上などの諸課題に対し行政改革を進め、背伸びをしない身の丈財政を基本に取り組む必要があります。

次に、資料3ページには、令和7年度の財政見通しが記載されております。

令和6年度当初予算と比べて、歳入については、約5億3千万円の減額、歳出については、一般財源ベースで約1千7百万円の増額となり、現時点での財源不足額は約5億5千万円となっております。

次に、資料3ページから5ページには、予算編成の基本方針について、8つの項目で示されております。

4ページの4番の中段には、各部門において、最低2事業以上の整理統合・縮減・休止・廃止を図ること、とされており厳しい現状となっております。

5ページ以降には、見積り上の留意事項や各部門の財源配分及び経費区分などが記載されております。

内容等について、御質問等がございましたら、お願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石渡委員 非常に厳しい財政の中で大変だと思うのですが、全体的に見て教育委員会の歳出、歳入を含めてどのような状況なのか聞かせていただきたいです。

○浦西教育総務課長 まず、資料7ページを御覧ください。部門の配分は一体感政策部門というところが教育部と市民部を合わせた配分になります。こちらが4億2,702万3千円となっております。その中で配分がされていますので今後予算を積算するようなかたちになります。この枠内に収める部分についてはこの中に収め、それ以外の枠外の部分、学校の教育環境を整備する工事費、修繕費については枠外になりますので、財政課とヒアリングをしながら予算を確保していきたいと思っております。

○及川教育長 全体的に抑えるというよりは、先ほど申し上げたように2事業の削減ということでメリハリをつける、新しいことをやりたいというのはもちろんありますので、そのようなことを考えたときに減らせるものは減らしてそして、新たにやりたいことを進める。全体的に限られている中でそういうことを行いながら来年度の予算編成を行っていききたいと思います。何を削るかは頭が痛くなりますね。今悩んでいるところであります。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。なければ次に進みます。
続きまして、(3)学校給食費の改定について、事務局より報告をお願いします。

○武田学校給食課長 それでは学校給食課より、学校給食費の改定につきまして報告します。
資料9ページ、資料3を御覧ください。
まず、資料3につきまして2点ほど修正がございます。

2の改定額決定までの経緯の改定額保護者通知の通知日が令和6年10月24日となっておりますが10月25日に配布いたしました。

次に3の値上げ額徴収に関する考えの2個目の●の令和6年度第3回定例会となっておりますが、第4回定例会に修正をお願いします。

それでは資料3に基づき説明いたします。

学校給食食材費につきましては物価高騰が続き、1食あたりの食材費は想定金額を超えております。さらに今後も物価高騰が継続すると見込まれることから給食費を改定し、現状及び将来的な食材費の上昇も踏まえ、令和6年11月より月額、小学校4,400円を5,000円、中学校5,200円を6,200円に改定することといたしました。

改定額決定までの経緯ですが、令和6年10月9日三浦市学校給食会臨時総会を開催し、令和6年11月からの給食費の改定及び改定額に関する意見決定の役員会への委任について、全会一致で承認されました。役員からは「余裕を持った額に改定すべき」、「食材の節約はしないことが望まれる」との意見がありました。臨時総会で出された意見を踏まえ、給食費改定額(案)を策定し、10月22日に三浦市学校給食会役員会を開催しました。令和6年11月からの給食費の改定額が承認され、10月25日に改定額保護者宛通知を送付いたしました。

値上額徴収に関する考えですが、令和6年度につきましては、保護者負担は変えずに食材については値上げ後の額を基準に購入を予定しております。

なお、学校給食会への補助金の増額について令和6年三浦市議会第4回定例会へ補正予算案を財政課あて提出しました。

以上で説明を終わります。

○及川教育長 説明は終わりました。
御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石渡委員 小学校と中学校の差額が1,200円となっておりますが、食べる量が違うからということでしょうか。

○武田学校給食課長 やはり中学校のほうが食べる量が多くて、量で言いますと約1.3倍になりますので、中学校のほうを多くしております。

○及川教育長 現状は800円の差、新しい給食費については1,200円の差ということなんですけれども、食材がどうしても値上がりしている、中学生のほうが多く食べるということでその差がうまれているというのはあります。

○廣瀬委員 補助金の増額を目指して補正予算案を調整中とのことですが、この補助金の増額という部分は保護者の支払いの部分にも充てられるのか、それ以外のものに充てられるのかどちらでしょうか。

○武田学校給食課長 この補助金の増額につきましては、現状保護者負担は給食費の半額負担をしております。その負担は変えずに、食材が上昇してきた額、食材費の不足額について補助金をということになります。

○廣瀬委員 では、食材費のみということですね。

○武田学校給食課長 そのとおりです。

○及川教育長 給食費については、基本的に食材費のみということですが。

補助金の増額を目指してということについては、現在小学生は4,400円の半額で2,200円、中学生は5,200円の半額で2,600円を市で補助しています。ですので、保護者の負担は2,200円と2,600円です。値上がりすると単純に半額とすると増えるわけです。2,200円から2,500円、2,600円から3,100円に増えるんですけども、その増える分については増額した補助金で市が負担するということになります。今年度については、家庭へのさらなる負担をなくすということです。

○廣瀬委員 来年度についてもそういった考えは残っていくのでしょうか。保護者が支払う分の補助というのは。

○武田学校給食課長 来年度につきましては、現時点では補助が継続されるかどうかというのは未定であります。

○川名委員 食材費の負担が増えているということで5,000円と6,200円で上げた金額でまかなえるということでしょうか。

さらに足りない分の食材費を補正予算で補填するというような印象があるので。

○武田学校給食課長 現状につきましては、今市から補助を先にいただいております。その中で補助金を充てて、食材を購入しているんですけども、今後不足が見込まれるので補助金というかたちで補正予算をあげております。

○鈴木教育部長 補足いたします。給食費と言われている保護者からいただいている食材費のほかに当然作っているときにかかる燃料費というのは元々市が負担しているので、今回の場合には値上げ分は食材費のみに充てられるものになります。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。ないようでしたら、次に進みます。

続きまして、次第6「その他」に入りたいと思います。

事務局から何かありますか。

○増田学校教育課長 本日夕方に発表されます報道発表について内容を説明いたします。

市立小学校における個人情報の不適切な管理についてです。市内小学校において児童1名分の通知表を不適切に管理していた事案が発生しました。

概要としましては10月に校長室内の耐火書庫内に児童1名分の通知表が入った封筒が発見されました。中身を確認したところ令和5年度の3月に配るべき通知表が配られずにそのままになっていたということでございます。当時の担任等にも聞き取りをしたところ、該当児童が修了式に欠席をしたことがわかり、渡せていなかった通知表をそのまま保管していたものわかりました。学校が児童、保護者に対して経緯説明を行い、謝罪をした上で改めて通知表をお渡しいたしました。

原因としましては、当時の校長と担任が児童がお休みをされたので、児童が春休み中に持ち帰る荷物と一緒に配付する予定でしたが、校長以外の複数の教職員でその情報を共有していなかったためチェック機能が働かなかった、当時の担任が持ち帰るものの確認を忘れて、通知表を入れてお渡しするのを忘れたためであります。また、校長の管理のもと本来であれば定期的に耐火書庫の中の保管書類の整理、確認をすべきところがされていなかったため前年度の通知表が保管されたままになっていたということに気付かなかったことが原因になります。

再発防止としましては、通知表をお渡しできなかった場合の保管方法、その後の措置については複数人で共有、確認することを徹底するとともに、耐火書庫内の保管文書等の確認、整理を校長管理のもと組織的かつ定期的に行って、個人情報の適正な管理に努めていきたいと思っております。御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

○及川教育長 本日報道発表ということで、どのように報じられるかはわかりませんが、教育委員の方たちの目に入る前に、報告というかたちをとらせていただきました。

今の通知表は以前のような「あゆみ」という特別なかたちのものではなくて、日常的な評価を常にお伝えするというので、普段の様子をファイリングしながら伝えてきたものを今回の学校は年2回になるんですけれども、まとめたものを保護者にお渡しするということが、休んでいたのでできなかったということなんですけれども、保護者のほうも日常的に子どもの評価については受けているので、受け取ったつもりでいたということがあっての発見の遅れということでもあります。概要としてはそのようなことになります。もちろん再発防止については徹底してもらわなければいけませんので、このようなことが二度と起こらないようにということは当該校及びほかの学校についてもきちんと伝えていきたいと思っております。

このことについての処分については、県教育委員会としては処分の対象にしないという内容なんですけれども、市としては看過できないということもありますので、三浦市教育委員会として口頭での厳重注意ということでの処分を考えております。

質問等ございましたらお願いいたします。

○石渡委員 どのような経過でわかったのでしょうか。

○増田学校教育課長 本年10月に次の「あゆみ」をつくる段になりまして、書庫内に当該の封筒があることに気が付いたことが発端です。

○及川教育長 お渡しするときにファイリングされたものを封筒に入れて渡すのですが、その封筒が書庫にあったということです。中には前学年のものが入っていたということです。

以前のように評価すべきときに特別な様式があつて行うものならばこのようなことは起こらなかったと思うんですけども、様式が変わってきた中での盲点、落とし穴であつたなと思っております。

○村山委員 前もってこのようなものですよというのをもらえるんですよ。その後、正式なものをもらうので、保護者のほうももらった気になっていたのではと思います。気をつけなければいけませんね。

○及川教育長 保護者というよりは学校が管理をしなければいけませんね。

○川名委員 起こってしまったことは修正しなければいけないですけども、管理職が注意すべきだと思うんですけども、お渡しした保護者の方が大きくしないことを祈っているんですけども、それが一番怖いことだと思うんですけども、保護者の反応というのはどうだったのでしょか。

○増田学校教育課長 経緯を丁寧に説明し、御理解を示していただいております。自分のほうが悪かったのではないかというお気持ちであられたと聞いておりますので、そうではなく学校の管理ということで御説明をさせていただいております。

また、この発表につきましても事前にお話をして、御理解をいただいております。

○及川教育長 もちろん特定されるようなかたちで報道はされませんが、やはりこのような事実があつたということは市としてはきちんと発表して今後ないようにということも含めて行いたいと思っております。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。
教育委員の皆さんから何かございますか。

○村山委員 最近闇バイトなどの事件が多いですけども、若い子が多いのでやはり犯罪を犯すにあたってどれだけのリスクがあるかということをおわかっていないのではないかと思います。そういうことを小学校、中学校の段階から教えていくということをどこかで市として、学校単位でもかまわないんですけども指導したほうがよいのではないかと思います。犯罪についての教育ということも充実していかなければいけないと感じます。

○及川教育長 ネットでの情報ということなので、これまでも情報のリテラシーについては取り組んできていると思うんですけども、報道を聞くと事が大きいのが最近の傾向かなと思います。

す。高校、大学生、中学生にも降りてきている。先日別の会議の中では、小学生にという可能性もあるのではということも言われてきていますので、今村山委員が言われた取組は今後必要になってくると思います。警察署長が参加しての会議の中では、闇バイトというものが三浦市内に関係する高校生の中でもないわけではないという話がありました。本当に他人ごとではないということはきちんと持つべきだろうなと思います。

○村山委員 伝え方が難しいんですけども、昔は地獄絵図を見せて悪いことをすると舌を切られるぞ、と言えばよかったんですけども、今はトラウマになってしまったらいけないというようなことで、それに似たようなことができるかわかりませんが、強盗殺人だったら死刑か無期懲役か、強盗傷害であれば執行猶予がなく6年というような判例としてあるということが、子どもにどこまで適用されるかわかりませんが、20歳で犯罪を犯して10年刑務所にいたら30歳までの一番いい時を刑務所の中で過ごすことになる、どこも天秤にかけるかになるんですけども、そのような話をしてくれるような方がいるといいのではないかなと思います。

○及川教育長 その辺の資料については年齢に応じたという方法もありますので、それも十分に検討して行わなければいけないなと思います。必要であるということは感じております。

○村山委員 もう一つ、YMCAでの事故の件について、その後施設のほうではどのようなになっているのでしょうか。

○鈴木教育部長 施設の規格としては特に問題はないということでしたので、横須賀としてはそれ以上大きな問題にはなっていないようです。

○村山委員 YMCAとしてはこんな対処をしますとかはないのでしょうか。

○鈴木教育部長 注意喚起は行っているようですけれども、それ以上のことはしていないそうです。

○及川教育長 建物、施設上に何か問題があったということではないんですけども、事故が起きたことは事実なのでそのような注意喚起は学校、教育委員会、YMCAでも行われております。
そのほかありますでしょうか。

○石渡委員 昨今新聞でも見たりしているんですけども男性教諭の育児休暇について、日本は非常に取得率が低いというようなことを私が現場にいたときにも聞いたことがあったんですけども、三浦市の現状はどうなのでしょうか。

○増田学校教育課長 令和4年度に実績はありますが、令和5年、6年度については特に実績はございません。

○及川教育長　もちろん制度としてあるわけですから取れる範囲で取っていただくということで、もちろんその人が休みになればその人に代わる職員を充てるということはきちんと行っております。

積極的にこちらからどうぞという話でもないですし、家庭の事情もありますのでそのような状況です。

そのほかいかがでしょうか。

○鈴木教育部長　報道であったので御承知かと思いますが、サルが三浦市内にいるということで、先日和田のほうから段々南下してきまして、昨日は岬陽小学校辺りで見かけたという情報も入ってきております。今は宮川のほうにいるとのことで、三浦半島をぐるっと北上していくのかなと、子どもたちには注意喚起をしております。

○及川教育長　そのほかよろしいでしょうか。

ないようでしたら、以上で、「その他」を終了します。

○及川教育長　それでは、以上をもちまして、令和6年10月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

◇ 午後3時43分 閉会 ◇
